

仙台育英学園報

仙台育英学園報 第 19 号 WEB 版

発行 / 令和 2 年 7 月 29 日

学校法人 仙台育英学園

〒 983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 4-1

Tel. 022-256-4141

URL <https://www.sendaiikuei.ed.jp>

WEB 版



アイ・チャレンジ 125

(2020 年版)

復興バージョン 10



学校法人 仙台育英学園 理事長

加藤 雄彦

夏の日差しとセミの鳴き声を背に浴びながら、世界中から日本に集まってきた人々とスポーツの祭典である東京オリンピック・パラリンピック 2020 の開催を祝い、アスリートたちの活躍に心を躍らせる。そして、本学園出身である服部勇馬選手がトップマラソンランナーとともに札幌の街並みを疾走する姿を見る。このような楽しみが遠い昔のことだったように不思議と感じる 7 月 24 日を迎えました。

令和 2 年の折り返しであった 6 月末を振り返ると、「世界で 1000 万人を超える感染者と約 50 万人を数える犠牲者を出し、今年でもその猛威が収まらない新型コロナウイルスの感染爆発」が今年前半のトップニュースだと断言しても異論はないと思います。

コロナ禍を機に教育の世界は大きく変わりつつありますが、それは過去との断絶ではなく、以前から想定されていた潮流を加速し、早送りを求めている側面が強いのではないかと考えています。

5 月 11 日、文部科学省が全国の教育委員会向けに開いたオンライン学習の説明会において、情報教育・外国語教育課長である高谷浩樹氏は、管理者の意識改革を促すために厳しい口調で学校での ICT（情報通信技術）導入の早期実施を求め、臨時休業下にあった学校教育において児童生徒たちの学習の遅れが発生しないように呼び掛けていたこともその一面ではないでしょうか。

前年度から本学園内には設置する学校やコースの垣根を越えた ICT 推進委員会が機能し、生徒の日常的な学習において Surface 等を利用する試みを進めてきました。そのおかげで 4 月以降の学習の遅れを最小限に留めることができています。

アイ・チャレンジ 125

加えて、本学園に設置されている広域通信制課程 ILC 宮城と全日制課程が連携して「併修チーム」を発足しました。仮に、本年度中に新型コロナウイルス感染の第 2 波が到来して再び臨時休業になったとしても、履修不足による卒業・進級に影響を与えないための特例措置を講じました。これにより、すべての在校生は ILC 宮城が設置する必修科目の履修登録を完了しました。今後は計画されている課題学習 (R) と対面授業 (S) と定期考査 (T) を着実にこなし、本年度の単位認定が滞りなく行えることを願っています。

新型コロナウイルスの対策が続く中で迎える今夏、文部科学省が定めたガイドラインに則って、感染予防を図りながら、とくに第 3 学年の進路達成に支障がないよう最大限努めて参ります。

一方、第 1・第 2 学年については、分散登校 (班別オンライン学習) はじめ新型コロナウイルス対策のカリキュラムによる授業を展開しているために各コースが用意している特色ある学校設定科目や課外学習を十分に受講できない状況が続いていることで心を痛めています。そのため、国や宮城県の指針に注目しながら、これらを実施できるようにしたいと思っています。

今後、コロナ禍で教育活動はネット空間を利用した方法に移行すると想定しなければなりません。高速通信規格「5G」などの技術進歩によるデジタル革命の流れに乗って、学園経営を打ち出していくことになります。その中でもネット上にファイルを保存して共有できるクラウドサービスを活用して、学園関係者がシンプルに業務をできるような環境もそう遠くない将来に出現できると期待しています。

すでに職員の間で Microsoft Teams の運用を始めた結果、ビデオ会議やメッセージ、ファイルの共有が可能となり、効率的な業務を遂行できるようになりました。また、学園職員も劇的に変化した業務内容に対して果敢に挑戦し、環境適応してくださっています。

東日本大震災から間もなく 10 年目を迎える宮城野校舎南西角に「至誠力行 西門 (しせいりっこう さいもん)」を設けることができました。ここから「けやき坂」沿いに広域通信制課程 ILC 宮城の学習室、技術・美術室、陸上部トラック・フィールドチームと硬式テニス部の部室を整備しました。さらに今秋から北側擁壁工事に取り掛かりたいと準備を始めています。甚大な被害を受けた宮城野校舎の復興をやり遂げるには今一步のところまで来ていますが、みなさまのご支援を引き続きいただきながら、教育環境の整備に努めて参りたいと思います。

学校法人 仙台育英学園の現状

1 令和 2 年度 在籍生徒数 (2020.5.1 現在)

(1) 仙台育英学園高等学校

全 日 制	1 学 年	2 学 年	3 学 年	合 計
特別進学	300	334	254	888
外国語	101	70	110	281
英進進学	280	260	316	856
情報科学	118	76	93	287
フレックス	226	193	174	593
技能開発	157	159	119	435
秀光コース	11	16	27	54
合 計	1,193	1,108	1,093	3,394

通 信 制	令和2年度生	令和元年度生	平成30年度生	29年度以前生	合 計
宮城・青森・沖縄	142	259	132	145	678

* 令和 2 年度は前期生のみ

(2) 秀光中等教育学校

	1 学 年	2 学 年	3 学 年	合 計
前期課程	27	36	32	95

学校法人 仙台育英学園の現状

2 令和元年度 決算状況

コロナウイルスの感染予防に伴う緊急事態宣言の影響により、令和元年度の決算事務は、例年より 1 カ月遅れることになりました。

現在本学は分散登校やオンライン授業の実施など生徒の学習機会を確保するとともに、温度センサーによる登校時の検温や換気対策のための扇風機の導入等コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、全員が登校して授業を実施しております。

令和元年度は、東日本大震災復興事業として宮城野校舎校地の西側を整備し、ILC 宮城学習棟、技術・美術室棟及び部室棟の建設を行うとともに「至誠力行西門」の新設、運動場の整備を行いました。

また、以前から ICT 教育設備整備を計画的に進めてきたことがオンライン授業の実施につながっており、学園の高度情報化時代に先駆けた取り組みが実を結んだものとなっております。

今年度は、東日本大震災復興事業の一環として宮城野校舎北側の擁壁工事や ILC 沖縄の校舎建設に向けた用地の確保等の事業を予定しており、財政基盤を強化しながら引き続き職員に丸となって学園運営を推進してまいりますので、皆様方には引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 令和元年度事業活動収支状況

【単位：千円】

教育活動収支	収入の部	科 目	決 算 額	摘 要
		学生生徒等納付金	2,150,597	
		手数料	61,630	
		寄付金	39,523	
		経常費補助金	1,028,961	
		国庫補助金	9,662	
		地方公共団体補助金	1,019,299	
		付随事業収入	101,881	
		雑収入	115,126	
		教育活動収入計	3,497,718	
	支出の部	科 目	決 算 額	摘 要
		人件費	1,929,721	
		教育研究経費	1,744,723	減価償却額 532,353 含む
		管理経費	265,126	減価償却額 13,223 含む
		徴収不能額	292	
		教育活動支出計	3,939,862	
	教育活動収支差額		△ 442,144	
	教育活動外収支差額		△ 49,907	
	特別収支差額		6,706	
	基本金組入前当年度収支差額		△ 485,345	
	基本金組入額		△ 485,800	
	当年度収支差額		△ 971,145	

学校法人 仙台育英学園の現状

■ 令和元年度 貸借対照表

【単位：千円】

資 産 の 部	
科 目	金 額
固定資産	20,227,638
流動資産	652,881
資産の部 合計	20,880,519
負 債 の 部	
科 目	金 額
固定負債	4,737,066
流動負債	1,096,878
負債の部 合計	5,833,944
純 資 産 の 部	
科 目	金 額
基本金	27,112,261
繰越収支差額	△ 12,065,686
純資産の部計	15,046,575
負債及び 純資産の部合計	20,880,519

本学園での新型コロナウイルス感染症対策



本年（2020 年）1 月より発生した新型コロナウイルス感染症の対策として、全国で学校の臨時休校や緊急事態宣言の対応が行われてきました。その中で、本学園では、一人一人の生徒のより良い成長を願い、「今できること」を最大限に行えるようにと考えて、校長先生を中心に全学園教職員一丸となって取り組んできました。これから、これまでの取組を紹介いたします。

1 令和元年度（2020 年 1 月～ 3 月）の状況

1 月に中国武漢に新型コロナウイルスが発生したことが確認され、2 月には、ダイヤモンド・プリンセス号の集団感染が発生し、その後、しだいに私たちの生活に新型コロナウイルスが忍び寄るように近づいてきました。

本学園での対応のスタートは、2 月 16 日からで、A・B 日程での一般入試が終わり、無事、合格発表を終えた頃でした。16 日には、生徒にマスクの着用の通知を行い、全県下に先駆けて、翌日 17 日から通学時の濃厚接触を避け、生徒の安全を守るために「登校時間の繰り下げ」を行いました。そして、21 日には、本学園幹部による「新型コロナウイルス感染症予防対策会議」を行い、今後の見通しを検討しながら、遠方から来ている留学生・寮生への対応や ICT 化の推進（※ 1）を図ることなどを決定しました。

2 月 28 日には、国から学校の休業要請が出る中、本学園では 2 月 29 日に高等学校の卒業式を行うなど、「卒業生のために」を合言葉に全教職員で取り組んできました。校長先生の挨拶では、「本学園の建学精神である『至誠』が目標となる」と、この混乱の時期を乗り越えていくように願うお話がありました。

※ 1 「ICT 化の推進」

3 月より順次 Surface を取り入れ、4 月中には、大部分の教職員が所持し、オンライン HR・授業が実施できるように推進したことです。

本学園での新型コロナウイルス感染症対策

2 今年度（令和2年度、2020年4月から）の対応**【1】今年度当初**

今年度を迎え、4月当初には、生徒たちは、新しい学年での生活に希望を膨らませていましたが、4月7日に内閣総理大臣が「緊急事態宣言」を発出したため、予定通りの入学式、始業式を行うことができなくなりました。しかし、その希望の道を少しでも生徒たちに進ませたいと考えて、本学園では、最大限の感染予防対策を徹底しながら、10日には宮城野校舎の高等学校（秀光・特進・情報各コース）の入学式、11日には多賀城校舎の高等学校（外国語・英進進学・フレックス・技能開発各コース）の入学式を執り行いました。なお、秀光中等教育学校前期課程入学式は、日程の関係上、5月8日に延期して、保護者同席で行いました。



宮城野校舎高等学校入学式



多賀城校舎高等学校入学式

【2】臨時休業措置期間（4月13日～5月10日）

4月16日には、「緊急事態宣言」が全国に拡大されたので、本校でも事前の4月13日から5月10日まで臨時休業措置を取りました。臨時休業の中でも、本校のオンラインH R・授業や書道部のオンライン部活動が報道されたり、寮生の住んでいる大志義塾等の寮での濃厚接触を避けるために各居室にシャワールームとトイレを設置する大規模改修工事を行うなど、速やかな対応を図りました。

この期間、他にも3年生の補習を計画していたのですが、社会状況に配慮し、残念ながら中止としました。また、本学園職員に対しても、在宅勤務によるオンライン授業の推進や公共交通機関による通勤の回避の工夫を行うなど、生徒への影響を最小限にする対策が取られました。また、速やかに校内の衛生委員会を開催し、学校運営の中での具体的な感染症防止対策を検討しました。



衛生委員会



ネット授業の記事 2020/4/16 河北新報朝刊県内版

本学園での新型コロナウイルス感染症対策

【3】一時登校期間（5 月 11 日～24 日）

「緊急事態宣言」は継続していましたが、5 月 14 日に宮城県の「緊急事態宣言」が解除されることを見越し、5 月 11 日から 22 日までの「一時登校」を始めました。この登校は、各クラスを 3 分割し、9:30～、12:00～、14:30～に分けて登校させ、2 時間程度の HR・授業を行うものでした。登校した生徒たちは、学校再開、そして級友と会えることを喜び、短い時間ながらも充実した時間を過ごしていました。この時期は、特に、3 年次生徒への配慮を行い、他学年より日数を増やし、週 3 日登校できるように対応しました。



久々に登校しました

【4】分散登校期間（5 月 25 日～6 月 21 日）

5 月 25 日に全国の「緊急事態宣言」が解除されたのに合わせて、本校の「分散登校」を始めました。ここからは、各クラスを 2 分割し、1, 2 年生は、A 班が授業、B 班が自宅でオンライン授業とし、1 週間ごとに交代しました。3 年生は、各クラスを 2 グループに分けて、特別教室等も利用して、進路に向けての授業を行いました。ここから、本格的に 45 分の 6 時間授業となり、少しずつですが通常の学校生活に近づいてきました。

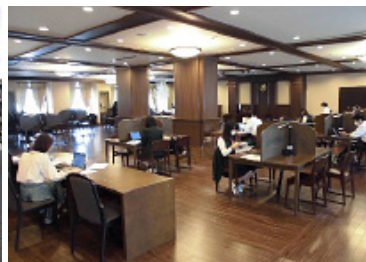
下の写真は、情報科学コースの 3 年生が、教室での授業とは別に遠隔授業をオークルームで行っていた時の様子です。

このように宮城野校舎・多賀城校舎の各コースともに、それぞれの特徴を生かした方法で「三密」を避けるように配慮した授業を行いました。

生徒たちは、「分散登校」が始まった頃は、一日の授業に疲れた様子も見られましたが、その後、大変落ち着いて学習に取り組むようになりました。また、この段階で、様々な制限はあるものの部活動が再開され、生徒たちの輝いた姿が各部活動の中で見られるようになりました。



スムーズに検温所を通過



オークルーム遠隔授業



バレーボール部（女子）の練習風景



陸上競技部短距離（男女）の練習風景

本学園での新型コロナウイルス感染症対策

【5】一斉登校期間（6月22日～）

生徒・保護者そして教職員にとっても、待ちに待った一斉登校期間が始まりました。それ以降も、本学園では、新型コロナウイルス感染拡大を予防する「新しい生活様式」を取り入れながら、予防対策を継続しています。

一斉登校再開後の生徒たちの様子は、これまで足りなかった級友とのコミュニケーションを深めながら、学級の一体感をつくり始めています。それぞれの生徒が、意欲的に授業に参加し、学習へ取り組んでおり、これまでの遅れを取り戻そうという気持ちに満ちあふれています。また、部活動では、本学園硬式野球部が、春の選抜大会の代替交流大会への参加が決定したり、他部でも県総合体育大会等の代替大会（※2）が検討されたりしています。今後、部活動参加生徒が、練習の成果を発揮できる機会を得て、その中での活躍を願うものです。



野球部掲載新聞記事

スポニチ（全国版）2020/5/17

※2 県総合体育大会等の代替大会

大多数の競技種目で7月下旬から8月中旬までの間に代替大会を行うように検討しています。

【6】「新しい生活様式」を取り入れた予防対策（例）

文部科学省の学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～では、集団感染のリスクへの対応として3点あげられています。本学園でのその対策を紹介します。

①「密閉」の回避（換気の徹底）

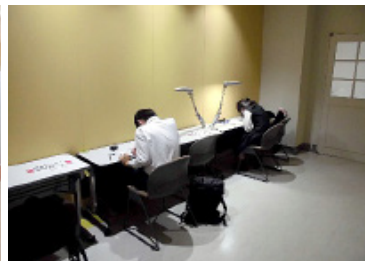
本学園では、各教室に2台ずつ扇風機を設置しました（今年度、全学園で260台準備しました）。昨年度まではエアコンのみの対応でしたが、今年度は、換気を徹底するためにエアコンと扇風機の両方を活用しています。

②「密集」の回避（身体的距離の確保）

現在、本県は感染レベル1の地域なので、教室では最大限の間隔をとるよう配慮しています。他に、自習する場所では席を開けて座るようにしたり、食堂では対面しないように配席したりする配慮をしています。



扇風機は前後に設置



自習机は一席空けます

③「密接」の場面への対応（マスクの着用）

登校時から、ほとんどの生徒はマスクを着用しています。また、先生と生徒の面談の際には、マスクはもちろんですが、「アクリル間仕切り」も活用して、感染防止に努めています。

本学園での新型コロナウイルス感染症対策



マスクをして登校中



アクリル間仕切り活用中

【7】本学園のオンライン・オープンキャンパス

例年ならば、オープンキャンパスは本学園にたくさんの中学生が来校する中で行っていました。今年度は、「三密」を防ぐため各中学校の生徒たちを集めることが困難になりました。そのため、本学園では、YouTubeを使って、オンライン・オープンキャンパスを開催することにしました。

6月末から7月の日曜日の午後に4回実施し、毎回、内容やゲストを変えて、飽きることなく視聴できるようにしました。1回40分の上映で、ドローンを飛ばしての校舎案内やワッキー貝山さんのような本校卒業生の芸能人の参加などを通して学園の紹介をしました。第1回目だけで、延べ3千名以上の視聴があり、参加者アンケートからは「よくわかった」、「楽しかった」など多くの肯定的な回答が得られました。



オンライン・オープンキャンパス
ポスター



オンライン・オープンキャンパスの撮影現場



<オンライン模試の実施>

オープンキャンパスに参加した生徒には、特典として「仙台育英オンライン模試」を無料で8月と12月に受験できるようにしています。中学2年生までの試験範囲の問題に挑戦して、臨時休業で授業が行われていなかった期間の不安を解消できるようにとの思いで準備しています。このオンライン模試は2021年2月2日・4日に予定している本学園の一般入学試験（A・B日程）と同一出題形式なので、受験生にとって入試本番に向けた心の準備につながると思います。

以上、本学園の半年間にわたって取り組んできた新型コロナウイルス感染症対策について、紹介してまいりました。今後とも、本学園の一人一人の生徒のより良き成長を願って、全教職員で対策に取り組んでまいりたいと存じます。

本学園のオンライン授業



本学園のオンライン授業については、将来を見通して令和元年の 10 月より準備を始めており、新型コロナウイルス感染症対策のために準備したものではありません。しかし、本年（令和 2 年）3 月より学校の臨時休校が始まったことから遠隔授業等の準備をさらに推進し、本県でも先陣を切って 4 月の臨時休業時よりオンライン授業を開始しました。この取組が、先行的な授業ということで河北新報の記事として掲載されることもありました。この本学園でのオンライン授業についての取組を紹介いたします。

1 オンライン授業開始までの準備

<教職員の対応>

- ・令和元年 10 月に、全教職員対象に導入のための説明会を開催し、スタートしました。
- ・3 月上旬に ICT（情報通信技術）に関わる主要な教職員へ Surface（マイクロソフトのノート PC）を配布し、事前研究を開始しました。
- ・3 月 11 日以降、Zoom（ビデオ・Web 会議アプリケーション）による遠隔授業を試行しました。
- ・4 月より順次、教職員への Surface の配布を行い、同時に ICT 推進委員による説明会を行いました。

7/9(木) Zoom オンライン授業 下記教室で試行中	
9:30~10:10	生物(2年) A1室
11:00~12:00	数学(2年) A1室 英語(2年) A1室
13:00~14:00	化学(2年) A1室 物理(2年) A1室 地学(2年) A1室
14:00~15:10	現代文(2年) A1室 英語(2年) A1室

試行時期の日程表

- ・4 月下旬には全教職員へ Surface の配布が完了し、自宅にインターネットの環境がない教職員にはルーターを配付しました。

<生徒への対応>

- ・生徒に対し、4 月 12 日に在宅での通信環境の有無について文書で確認を行い、即時、通信環境のない生徒へルーター、パソコンの貸し出しを行いました。
- ・その貸し出しにより、本学園の生徒全員が、オンライン授業等に参加できる環境の準備が整いました。

本学園のオンライン授業

2 秀光中等教育学校・本学園高等学校秀光コースのオンライン授業の取組

秀光中等教育学校・本学園高等学校秀光コースでは、全生徒が Chromebook (小型 PC)、OwnPC (個人の PC) を所持していますので、本学園の先陣を切って、オンライン授業を行うことができました。その経緯等をご紹介します。

4月6日入学式・一日登校

(翌7日より、自宅学習日となりました。)

7日 秀光中教職員の研修会

8日 秀光で一部オンラインHR・授業の開始・接続テストを行いました。

9日 オンラインHR・授業の試行を開始しました。

13日 中3から高3までオンライン授業を開始しました。

HRを9:30から行い、その後、午前中に2～3時間程度の授業を行いました。



Zoom での授業の一コマ



自宅で学習する様子

5月11日に本学園の一部登校が始まってからは、全学年生徒ともに、通常の授業に戻りましたが、県外在住の係留措置期間中の生徒や欠席生徒についても、授業が遅れないようにと配慮し、オンラインで授業を配信することもありました。

<オンライン授業実施後の生徒・保護者アンケート調査結果について>

下表のとおり、生徒の8割以上が「満足である」もしくは「おおむね満足である」と回答しています。保護者も、ほぼ同様の傾向となっています。

オンライン授業について (各教科合計)	結果 (人数 割合)	
満足である	397	59.9%
概ね満足である	149	22.5%
普通である	88	13.3%
やや不満である	23	3.5%
不満である	6	0.9%
計	663	100.0%

○ 生徒の感想 (一部抜粋)

「事前に配布されたプリントを準備し、オンライン授業に参加し、参加生徒が積極的に参加し、グループディスカッションもできているので、普段の授業と変わらず理解できた。」

「授業中にも、パソコンを利用すると、効率よく学習できると、オンライン授業を受けていて思った。」

○ 保護者の感想 (一部抜粋)

「とても大変な状況ですが、いろいろと対応して頂きありがとうございます。」

「コロナ禍の中、オンラインでも授業が受けられる事を非常にありがたく思っています。」

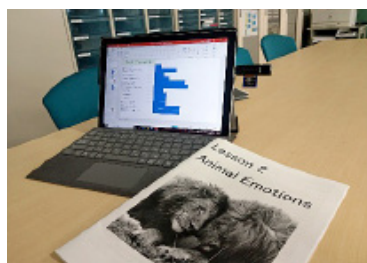
本学園のオンライン授業

3 他コースのオンライン授業等の取組**【1】特別進学コース「1 年・英語の分散登校時のオンライン授業」**

特別進学コースの 1 年・英語のオンライン授業の方法は、事前に生徒たちにプリント集を渡しておき、生徒たちが、そのプリント集を自宅で予習した上で、オンライン授業に参加させ、学習効率上がるように工夫しました。

分散登校時には、1 学年の各クラスは「通常の授業を受ける班」と「オンライン授業で参加する班」に分かれて授業が行われました。その時には、両方の班の交流を促進させるために、オンライン上で 3～4 名のグループワークを行わせ、協力して問題を解くための根拠を見つけさせて発表させるように工夫し、Zoom での生徒同士のコミュニケーションを高めるようにしました。

授業のまとめの場面では、復習用の説明シートを準備して、そのシートを説明することで本時の授業の理解を高めるように努めました。担当の先生からは、「分散登校ですが、両方の班の生徒が普段のように話し合いができるように配慮して取り組ませました。」と話がありました。



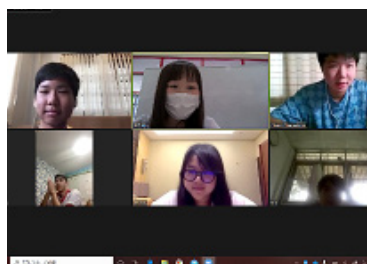
Surface とプリント集



QR コードでスムーズに参加

【2】外国語コース「留学予定者への日本語演習オンライン授業」

外国語コースには、コロナ感染症対策のために、今年度 4 月に来日できていない留学予定者がいます。現在、その生徒たちに対しては日本語の授業を週 5 時間 Zoom で行い、さらにスタディサプリを使って、講義の動画配信、ミニテストを実施するなど授業時数分を配信し、授業を進めています。



海外から参加した生徒



日本語演習の授業

右上の写真では、机のセンターにおかれた Surface で、4 名のタイの生徒と 1 名のインドネシアの生徒が参加しています（左上の写真）。その教室にいる 3 名の生徒は中国からの生徒です。日本語習得のために遠距離でも、楽しくかつ真剣に取り組んでいるのが印象的でした。担当の先生からは、「来日できなくなり心配していましたが、Zoom を使って実際に顔を見て授業を進める中で、元気な姿を見ることができ、安心しました。」と話がありました。

【3】英進進学コース「タブレットを使った 1 年・生物基礎の授業」

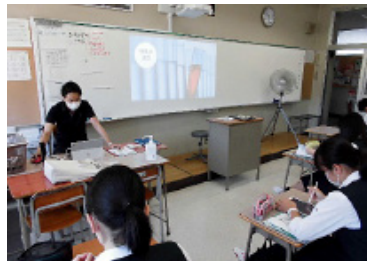
英進進学コースでは、1 年生全員にタブレットを所有させて授業等で活用させています。

本学園のオンライン授業

下の写真は、分散登校時の生物基礎の授業です。教師が準備した資料を生徒が自分のタブレットで確認したり、専用のアプリを利用して、生徒が書いた記述式問題の解答をクラス全員で共有したりして、学習を進めていました。

担当の先生からは「これからますます活用ニーズが高まると思います。生徒が自分で振り返りたいときにいつでも、その学習内容を確認できるので、復習にも役立つと思います。」との話がありました。

今回は、生物基礎の授業をピックアップしましたが、他の教科でも、多くの利用を図って学習効率を高めるように英進進学コース全体で取り組んでいます。もちろん、これまでの臨時休業中や一時・分散登校などの際にも、この活用が図られていました。



生物基礎の授業



タブレット活用中

4 教職員 Surface 使用状況調査から（回答者数 274 名）

- ・約 6 割の教職員が毎日 4 時間以上 Surface を活用しています。また、他の教職員もおおむね 2 時間以上活用しています。
- ・教職員の Surface の主な利用法は、Zoom を使ったのオンライン HR・授業、Classi を使った生徒・保護者への連絡、Teams を使った校内打ち合わせ、各種教材研究などです。
- ・Surface を使って、校務・業務効率が上がったと回答した教職員が 88.7% となっており、ほとんどの教職員が、その有効性を感じています。

5 まとめ

- ・「臨時休業」時（4 月 7 日～5 月 10 日）においては、日が進むにつれてオンライン授業を安定して行えるようになりました。その中で、教職員が在宅で授業ができたことは、教職員の感染予防にもつながりました。
- ・「一部登校」時（5 月 11 日～同 24 日）においては、登校しない学年・学級で Zoom によるオンライン HR・授業を行い、プリント学習などの対応も含め、学習の遅れをなくすように努めました。
- ・「分散登校」時（5 月 25 日～6 月 21 日）は、各コースの 1, 2 年生を学級ごとに A 班・B 班に分け、さらに 1 週間ごとに登校で授業を受ける班と自宅等で Zoom を利用して受ける班に分けて、同様の進度で HR・授業を行いました。
- ・6 月 22 日以降は、「一斉登校」になり通常の授業を受けることができるようになりました。ただ、心配されている新型コロナウイルスの第 2 波に備え、通信面の環境の整備、併修制度と単元計画について等を生徒・保護者への説明を行い、学習面への不安を最小限にできるように引き続き対応を進めていきます。その準備のために、本学園では、教職員のテレワーク勤務の制度化を進めており、既に職員のテレワークによる分散勤務の試行も実施しております。



分散登校時のオンライン授業

本学園のオンライン授業

【通信制課程での併修授業について】

本校には、ILC 宮城という名称の広域通信制課程があります。今年度は、全日制課程の生徒たちの未履修が発生しないように考慮し、必修科目の一部をこの通信制課程で履修する併修を開始しました。

その中でも、特に進学等のために登校日数が短い 3 年生の優先度を高くし、併修授業で対処するように考えました。また、1・2 年生についても同様に、必要な部分を通信制課程での単位習得を検討しています。

つまり、これまですべての授業を教室で受けて単位を取得していた全日制課程の生徒が、その一部の単位を通信制課程で併修するという補完的な特例措置を今年度行います。



併修チーム執務室



提出されたレポート

1 具体的な通信制課程併修内容について

- (1) レポート（報告課題）＜習得単位数について＞
- (2) 授業（6 月 10 日現在、各コース 3 学年）
 - ・スクーリング（面接指導）
 - ・L ネット（インターネットスクーリング）
- (3) 定期考査（認定試験）
- (4) 単位認定

2 併修関係スケジュールについて

- ・5 月 25 日以降 スクーリング開始
- ・7 月下旬・8 月上旬 併修週間
（スクーリング集中期間）
- ・8 月 20 日 レポート提出
- ・8 月下旬 併修テスト
- ・9 月 11 日 合格判定

コース名	習得予定教科（単位数）
秀光コース	体育 (3)
特別進学コース	体育 (3)
情報科学コース	世界史 B (2)、日本史 B (2)、体育 (1)、音楽 (1)、家庭総合 (2)
外国語コース	世界史 B (2)、地理 B (2)、体育 (2)
英進進学コース	世界史 B (2)、日本史 B (2)、日本史 (2)、科学と人間生活 (1)、体育 (1)
フレックス・技能開発コース	日本史 B (2)、書道 (1)、家庭総合 (1)、体育 (1)